

// 会社の概要 (平成27年11月30日現在)

商号 アルテック株式会社
設立年月日 昭和51年5月15日
資本金 5,527,829千円
従業員数 139名 (グループ全体495名)
所在地 東京都中央区入船二丁目1番1号
住友入船ビル2階

// 役員 (平成28年2月26日現在)

代表取締役社長	張 能 徳 博
取締役専務執行役員	瀧 川 賢 一
取締役執行役員	阪 口 則 之
取締役執行役員	陶 山 秀 彦
取締役執行役員	池 谷 壽 繁
社外取締役	宮 本 康 廣
常勤監査役	藤 田 清 貴
社外監査役	石 川 剛
社外監査役	豊 島 絵
執行役員	井 上 博 行
執行役員	山 村 研 輔
執行役員	井 上 賢 志

// 株式の状況 (平成27年11月30日現在)

発行可能株式総数 40,000,000株
発行済株式の総数 19,354,596株
株主数 7,021名
大株主

株主名	持株数	持株比率
	株	%
竹内エムアンドティ株式会社	900,000	5.25
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	576,000	3.36
株式会社三菱東京UFJ銀行	505,920	2.95
関西チューブ株式会社	485,000	2.83
由利和久	450,276	2.63
共同印刷株式会社	432,900	2.52
株式会社アルミネ	391,000	2.28
村永八千代	383,076	2.23
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	304,800	1.78
竹内正明	253,000	1.48

(注) 1. 当社は、自己株式2,208,167株を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。
2. 持株比率は、自己株式2,208,167株を控除して計算しております。

// 株主メモ

事業年度 毎年12月1日から翌年11月30日まで
定時株主総会 2月
期末配当金受領株主確定日 11月30日
中間配当金受領株主確定日 5月31日 (中間配当を実施する場合)
株主名簿管理人 (特別口座の口座管理機関) 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先 〒137-8081
(郵便物送付先) 東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-232-711 (通話料無料)
電子公告により当社のホームページ
(<http://www.altech.co.jp/>) に掲載します。
ただし、事故その他やむを得ない事由により、電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

公告の方法

(ご注意)

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関 (証券会社等) で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人 (三菱UFJ信託銀行) ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関 (三菱UFJ信託銀行) にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



この冊子は環境への配慮のため、FSC森林認証紙と植物油インキを使用しています。

第40期 報告書

平成26年12月1日～平成27年11月30日



ALTECH
アルテック株式会社

証券コード：9972

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご支援・ご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、第40期（平成26年12月1日から平成27年11月30日まで）のアルテックグループの営業の概況についてご報告申し上げます。

当連結会計年度における我が国経済は、政府による経済・金融政策を背景に、企業業績が回復基調にある中で設備投資が緩やかに増加し、雇用環境にも改善が見られましたが、消費税率引き上げや円安進行に伴う消費者マインドの低下により個人消費の下押し懸念が残りしました。海外においては、米国経済は回復傾向にあるものの、中国をはじめとする新興国経済の景気減速が見られ、依然として不透明な状況で推移いたしました。

このような市場環境のもと、当社グループは、商社事業においては、国内において人員増強やマーケティングの強化に取り組み、海外においては、ベトナムに営業拠点を設けるなど事業規模の拡大に努めてまいりました。プリフォーム事業においては、新たな販路獲得に努めるとともに、中国で生産している日本向け製品の一部を国内生産に切り替えるため、前連結会計年度までその他の事業の生産・販売拠点であった国内連結子会社へ移管作業を進める等、事業の立て直しに取り組みでまいりましたが、中国経済の成長減速やその影響を受けたASEAN地域の経済減速等から厳しい経営環境となりました。

その結果、当連結会計年度の売上高は15,810百万円（前期比2.6%減）、営業損益は168百万円の利益（前期比41.8%減）、経常損益は、日本国内でのプリフォーム事業立ち上げ遅延に伴う開業費用負担が想定以上に生じたこと等から、104百万円の損失（前期は205百万円の利益）、当期純損益は投資有価証券の売却益を特別利益として計上したものの、プリフォーム事業における現在の事業環境や今後の見通し等を勘案し一部の事業用資産について減損損失997百万円を特別損失として計上したこと等により998百万円の損失（前期は133百万円の利益）となりました。

セグメント別では、商社事業については、主に3Dプリンタの販売において営業力および商品力を強化するため人員の増強を実施するとともに広告宣伝費投資をし、認知度の向上およびエンドユーザーへのサービスの拡大を図り、3Dプリンタ関連機器・消耗品の販売が堅調に推移いたしました。また、アトミックレイヤーデポジション（ALD、原子堆積法）関連製造装置の販売のほか、RFIDタグの材料価格の低下が進んだことからRFID関連製造装置の販売が増加いたしました。

その結果、売上高は10,377百万円（前期比6.6%増）、セグメント利益は445百万円（前期比13.8%増）となりました。

プリフォーム事業については、中国経済の減速やその影響を受けた新興国経済の鈍化等により市場環境が悪化し収益性が大幅に低下する中、継続的なコスト削減や生産効率改善に努める等事業の立て直しに取り組みでまいりましたが、市場環境を補うには至りませんでした。

その結果、売上高は5,489百万円（前期比4.3%減）、セグメント損失は101百万円（前期は8百万円の損失）となりました。

引き続き株主の皆様には一層のご支援を賜りますよう、何卒宜しく申し上げます。

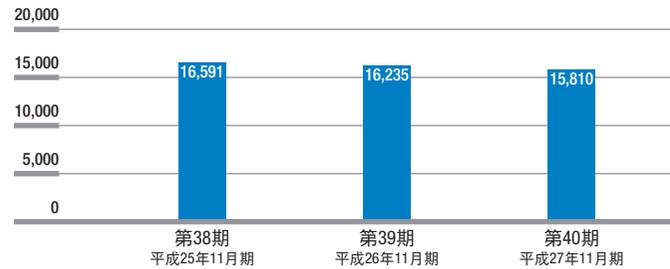


平成28年2月
代表取締役社長

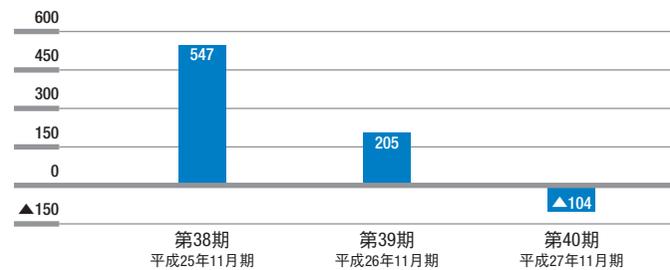
張能 徳博

連結業績ハイライト

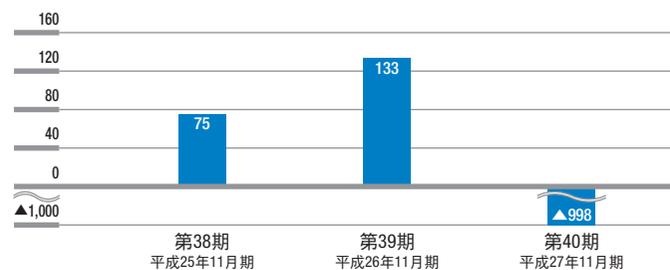
売上高（単位：百万円）



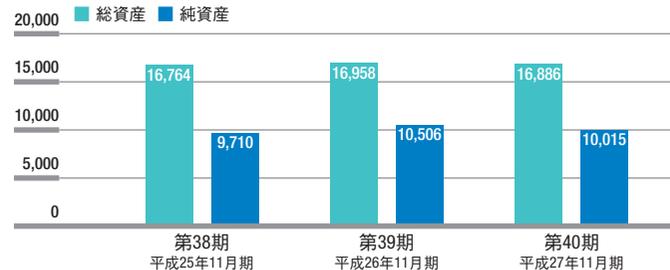
経常損益（単位：百万円）



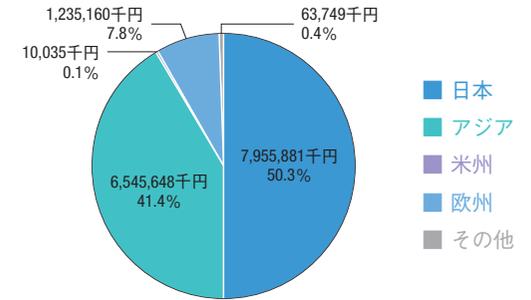
当期純損益（単位：百万円）



総資産／純資産（単位：百万円）



地域別売上高構成比



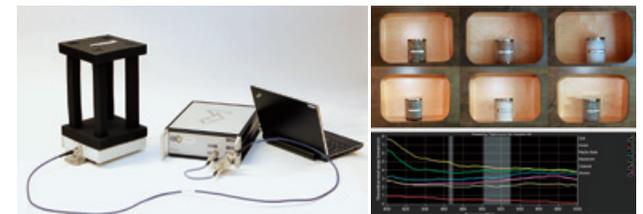
トピックス

最先端技術による商品のご紹介



カード、RFIDタグ製造装置 Muehnbauer GmbH & Co.KG

RFIDインレイ（またはインレット）を製造する装置です。高速かつ高精度でICチップを実装する装置として世界的に導入されています。RFIDとは、電波を用いて微小な無線チップにより、人やものを識別するしくみで、RFIDアンテナにICチップが実装されたものをRFIDインレイと呼びます。ロール状のRFIDアンテナを装置に投入し、塗布した導電性接着剤の上にICチップを載せ、約180℃の熱で硬化させます。RFIDインレイはスマートカードやラベルシール、小片タグなどに加工され、バーコードに代わる技術として流通や物品管理に使用される他、社員証などのセキュリティ管理、交通系ICカードなどの電子マネーとして使用されます。



RFIDタグ検査装置 (Voyantic Ltd)

RFIDインレイやRFIDラベルやタグの電波特性を測定する装置です。RFIDインレイの中でもUHF帯と呼ばれる900MHzなどの高い周波数帯は加工される材質の影響を受けやすく、例えば、ゴムやガラス、プラスチックなどと同じRFIDインレイを取り付けて測定すると、電波特性の波形が大きく異なります。幅広い周波数帯にわたって視覚的に見やすく測定できるため、何が原因で、どのような特性が変化しているかを正確に把握することができ、RFIDアンテナの設計見直しなどに要する時間を大幅に短縮するソリューションです。